

平成 26 年度 前学期
お茶の水女子大学 生活科学部 特別設置科目のご案内
(ECCELL 社会人プログラム)

前学期は、毎週水・木曜の 11・12 限 (18:20~19:50) に 1 科目ずつ、集中講義で 4 科目、合計 6 科目が開講されます。

【前学期】

水曜日 : 乳幼児発達障害論Ⅲ
木曜日 : 現代保育課題研究Ⅶ
集中講義 : コミュニティ保育資源の活用Ⅲ
集中講義 : 乳幼児保育マネジメントⅢ
集中講義 : 子ども理解と保育の探求Ⅲ
集中講義 : 現代育児論Ⅱ

前学期開講科目 シラバス

乳幼児発達障害論Ⅲ

2単位 水曜日 18:20~19:50

担当: 榎原 洋一 (お茶の水女子大学大学院 教授)

主題と目標

人の子どもの発達には、遺伝と環境の相互作用によって決定されている。本講義では、生物学的・医学的な視点で、子どもの発達とその障害について概説する。前学期では、特に近年社会的関心の高い発達障害 (自閉症スペクトラム障害、注意欠陥多動性障害など) について詳説する。

受講条件・その注意

特になし

授業の形態

■講義 □討論 □講読 □実験 □実習 □実技 □発表 □演習

教科書・参考図書

適宜プリントを配布する。

評価方法・評価割合

■ 期末試験 (割合: 50%) ■ 出席 (割合: 50%)

授業計画

- ①子どもの精神発達
- ②社会性と情緒の発達
- ③注意欠陥多動性障害 (1)
- ④注意欠陥多動性障害 (2)

- ⑤注意欠陥多動性障害（3）
- ⑥注意欠陥多動性障害といじめ、虐待
- ⑦自閉症スペクトラム障害（1）
- ⑧自閉症スペクトラム障害（2）
- ⑨自閉症スペクトラム障害（3）
- ⑩学習障害（1）
- ⑪学習障害（2）
- ⑫発達障害の脳科学
- ⑬特別支援教育
- ⑭発達障害の概念の問題点
- ⑮総合考察

学生へのメッセージ

医学的観点から見た発達障害について、分かりやすく解説します。

現代保育課題研究Ⅶ

1単位 木曜日 18:20～19:50

担当：榊原 洋一（お茶の水女子大学大学院 教授）ほか

主題と目標

本授業では、受講生自身の関心をもとに、乳幼児の保育や教育に関する問題や、保育現場などで直面するさまざまな課題について、各自研究テーマを設定し、ゼミ形式で話し合いながら研究レポートの作成をめざします。たとえば、子どもの発達や育ちと保育の関係、実践現場における子育て支援のあり方、観察記録やカンファレンスの活用、保育環境や表現の問題、海外の保育との比較や保育の歴史など、各自のテーマについて検討を行い、研究を進めていきます。人数が多い場合は、研究テーマによって少人数のグループに分かれ、複数の担当教員とともに考察を深めていきます。隔週木曜日の開講を基本としますが、受講生の予定によって柔軟に日程を組んでおり、個別指導を行うこともあります。学期末に、学習・研究結果をまとめて発表しますが、希望者には日本保育学会などでの発表もサポートします。

受講条件・その注意

保育現場をもつ社会人向きであるが、学生参加も可。

授業の形態

■講義 ■討論 ■購読 □実験 □実習 □実技 ■発表 □演習

評価方法・評価割合

■ 出席（割合：50%） ■ 発表（割合：50%）

主題と目標

子どもは、園（幼稚園・保育園）での時間、家庭での時間、地域コミュニティでの時間を合わせた24時間を過ごしています。ともすると「園の中にいる子ども」「3年間（あるいは6年間）の園生活」に限定しがちな視点を、長い一生のうちの「子どもの時間」として見つめなおし、保育への地域資源の活用と、保育が地域にかかわっていくことの意義をみんなで考えたいと考えています。「子育てする地域文化の創造」を目指す三鷹市において、市民との協働によって運営されている「星と森と絵本の家」の活動を資料源とします。

受講条件・その注意

特になし

授業の形態

■講義 ■討論 □講読 □実験 □実習 □実技 ■発表 □演習 ■施設見学

教科書・参考図書

レジュメ配布

評価方法・評価割合

■ 小論文（レポート）（割合：30%） ■ 出席（割合：50%）
■ 発表（割合：20%）

授業計画

5/10（土） ①9:00-10:30 ②10:40-12:10 ③13:20-14:50 ④15:00-16:30

- ①自己紹介及びワークショップ
- ②ワークショップのまとめと共有
- ③三鷹市の「子どもと絵本プロジェクト」検討過程
- ④星と森と絵本の家について(1) 見学のポイント

5/24（土） ⑤⑥⑦10:00-16:30（三鷹市「星と森と絵本の家」見学及び事業参加）

- ⑤⑥⑦星と森と絵本の家について(2) 施設見学（所在地：三鷹市大沢 2-21-3 国立天文台内）

6/7（土） ⑧9:00-10:30 ⑨10:40-12:10 ⑩13:20-14:50 ⑪15:00-16:30

- ⑧星と森と絵本の家について(3) 見学についてレポート・意見交流
- ⑨星と森と絵本の家について(4) 絵本の家ができるまで
- ⑩星と森と絵本の家について(5) 絵本の家事業の特徴と配慮
- ⑪「地域における保育資源」を考察する

6/21（土） ⑫9:00-10:30 ⑬10:40-12:10 ⑭13:20-14:50 ⑮15:00-16:30

- ⑫「子どもと地域」について考察する
- ⑬「園と家庭の関係」を考察する
- ⑭「園と地域の関係」を考察する
- ⑮まとめ コミュニティ保育資源の活用について

学生へのメッセージ

受講生の経験の交流によって進めていきますので、「園での子ども」「家庭での子ども」「地域での子ども」に関するバラエティ豊かな受講生が参加されることを期待しています。

担当：安治 陽子（お茶の水女子大学 人間発達教育研究センター 特任講師）

（※開講日時は授業計画参照）

主題と目標

子どもや家族をとりまく社会的変化や保育の制度改革を背景として、保育のあり方は次第に複雑化し、保育空間も時間の構成も、集団の枠組みも、保護者の保育参加のあり方も、今後さらに多様化していくことが予想されている。現代の保育者の課題は、乳幼児の発達にかかわる教育資源（リソース）を豊かに想定し、それらを上手に日々の子どもたちの生活に取り入れる力を身につけていくことであろう。本授業では、子どもの成長・発達にかかわる保育・教育資源を活用するうえでの『舵取り』力の養成を目指している。前学期では特に「保育環境」に焦点を当てて検討し、質の向上を目指して先駆的な取り組みをしている園の実践に学び、運営上の課題を明らかにしていく。

受講条件・その注意

特になし

授業の形態

■講義 ■討論 □講読 □実験 □実習 □実技 □発表 ■演習

教科書・参考図書

授業で紹介する。適宜レジュメや資料を配布する。

評価方法・評価割合■ 小論文（レポート）（割合：50%） ■ 出席（割合：20%）
■ 討議（割合：30%）**授業計画**7月24日（木）①9:00-10:30 ②10:40-12:10 ③13:20-14:50 ④15:00-16:30**保育環境と子どもの発達**

- ①保育環境の構成：子どもの発達と学習を支える保育環境とは
- ②幼稚園設置基準・保育所最低基準の設定と見直し
- ③保育空間の制約と園内外の資源活用
- ④保育環境を考える視点：見学に向けて

7月25日（金）①9:00-10:30 ②10:40-12:10 ③13:20-14:50 ④15:00-16:30**配慮の行き届いた園の見学**

認可保育所、幼稚園、幼保一体施設、事業所内保育所、子育て支援施設などの事例から、保育環境の構成とその機能性を考える。

※受講生数を考慮しながら、実際に見学する機会を設ける予定。

7月26日（土）①9:00-10:30 ②10:40-12:10 ③13:20-14:50 ④15:00-16:30**事例から保育環境を見直す**

- ①見学の振り返りから、保育環境の工夫と配慮を学ぶ
- ②室内環境：生活と遊びの保障、安全と探索の両立、コーナーの配置と活動の流れ
- ③室外環境：室内からの視線と動線、季節の取り入れ、発見と共有を促す
- ④保護者・地域とのつながりを再考する

7月27日(日) ①9:00-10:30 ②10:40-12:10 ③13:20-14:50

保育環境改善の可能性

子ども・保育者・保護者・地域の学び合いを可能にする質の高い保育環境作りをめざして

学生へのメッセージ

子どもの発達と学習にかかわる保育環境のあり方について理解を深め、配慮の行き届いた保育環境作りの可能性を考えてみましょう。

子ども理解と保育の探求Ⅲ

1単位 集中講義※

担当：浜口 順子・高濱 裕子・柴坂 寿子（お茶の水女子大学大学院 教授）

（※開講日時は授業計画参照）

主題と目標

3名の講師がそれぞれの視点から、子ども理解について考えます。①東アジアにおける親の社会化の特徴：日本、韓国、中国の比較（高濱）、②時代による子ども・保育理解の変化（浜口）、③幼稚園・保育園での子どもの仲間文化の理解（柴坂）などのテーマを予定しています。

受講条件・その注意

特になし

授業の形態

■講義 □討論 □講読 □実験 □実習 □実技 □発表 □演習

教科書・参考図書

特にテキストを指定しないが、毎回必要な資料（プリントなど）を配布する。

評価方法・評価割合

■ 小論文（レポート）（割合：70%） ■ 出席（割合：30%）

授業計画

- ① 6月14日(土) ①14:00-15:30 ②15:45-18:00 : 高濱 裕子
- ② 6月28日(土) ①14:00-15:30 ②15:45-18:00 : 浜口 順子
- ③ 7月12日(土) ①14:00-15:30 ②15:45-18:00 : 柴坂 寿子

学生へのメッセージ

幼児教育学、発達心理学、子ども行動学のそれぞれの視野が交錯するところから、子どもについて考えましょう。現場の保育者や社会人の方と、大学の学生がともに受講する場となります。

現代育児論Ⅱ

1単位 集中講義※

担当：大日向 雅美（恵泉女学園大学 教授）

上垣内 伸子（十文字学園女子大学 教授）

大豆生田 啓友（玉川大学 准教授）

（※開講日時は授業計画参照）

（調整中）

主題と目標

授業の形態

教科書・参考図書

評価方法・評価割合

授業計画

学生へのメッセージ